

コーポレートベンチャーキャピタルファンド
「阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合」が
3D アバターとブロックチェーンでXRビジネスを推進する
「Pocket RD」に出資しました



阪急阪神ホールディングスが2021年4月に設立したコーポレートベンチャーキャピタルファンド「阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）」は、自身のアバターを自動生成できるメタバース向けアバターのプラットフォーム「AVATARIUM（アバターリウム）」や、ブロックチェーン技術を活用してNFT（非代替性トークン）化した3DCG作品などを売買できるマーケットプレイス「Pocket Collection」の開発・運営を行う「株式会社Pocket RD（ポケットアールディー）」に出資しましたので、お知らせします。

当社は、デジタル甲子園などお客様にアバターをご利用いただくメタバース（インターネット上の仮想空間）事業に着手していますが、今後も、こうしたDXへの取組をさらに推進していきたいと考えております。そのための取組の一つとして、メタバース向けアバターの制作・編集技術やブロックチェーン技術などを持つ同社と協業・共創を行い、それを通じてXR（クロスリアリティ）技術等を活用しながら、新たな付加価値の創出に取り組んでいくことといたします。

阪急阪神ホールディングスグループでは、これからも本ファンドからの出資等を通じて、スタートアップ企業をはじめとする外部の優れた知見や先端技術を取り入れ、当社グループとの事業シナジーの創出や新しい事業の創造を推進してまいります。

■株式会社 Pocket RD の概要

所在地	東京都渋谷区東 3-14-15 MO ビル 9 階
代表者	代表取締役 梶倉 宏哉
設立	2017 年 11 月
事業内容	「AVATARIUM」及び「Pocket Collection」の開発・運営
特徴	<p>○「AVATARIUM」とは フルボディスキャナーやアプリでの撮影により、自身の外見を模したオリジナルアバターを制作し、保存・編集（カスタマイズ）することができるプラットフォームです。制作したアバターは提携するメタバースにエクスポートすることができます。</p> <p>○「Pocket Collection」とは 3D技術を活用したアートワークなどのデジタル作品を、NFT化して売買することができるマーケットプレイスです。NFTによって、売買するデジタル作品がオリジナルデータであることを証明できるとともに、創作履歴などもブロックチェーン上に記録するため、作品の改変や2次販売がなされてもクリエイターの権利を保護することができます。また、多数の関係者が創作に関わる作品において、利益分配の管理を行うことが可能です。</p>

■阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合の概要

ファンド名称	阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合
ファンド規模	30 億円
設立日	2021 年 4 月 1 日
運用期間	10 年
運営会社	SBI インベストメント株式会社
主な投資領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>DX の推進</u> コンテンツ（エンタテインメント映像、e スポーツ など） コミュニケーション（オンライン会議システム、ライブ配信 など） コミュニティ（オンラインサロン、オンラインカンファレンス など） マーケティング（広告、媒体、ソーシャルメディア、データ収集・解析・活用 など） EC（EC サイト開発、オンライン決済、物流 など） ・ <u>次世代モビリティ（MaaS）</u> ・ <u>ヘルスケア</u> ・ <u>シニア向けサービス</u> ・ <u>農業関連事業</u> など

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

以上